

soraie

壁付け室内物干し
クイックポール

SRS51410
SRS51411

取扱説明書

この度はsoraie壁付け室内物干しクイックポールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。なお、お読みになったあとは大切に保管していただき、
取扱いのわからないときや不具合が生じたときにお役立てください。

安全上の注意

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、
いろいろな表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される
場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

🚫 絵表示の例

左図の記号は禁止の行為で
あることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止
内容が表示されています。

⚠ 警告

● 室内物干しの下にストーブなどの
暖房器具を置いて干すことは絶対に
しないでください。
火災の原因になります。

● 固定ピンは非常に細かく、紛失すると
大変危険です。
付属のピンは予備があります。
保管には十分注意してください。
特にお子様には十分ご注意ください。
ケガや誤飲の恐れがあります。

⚠ 注意

● 本製品は室内専用の物干しですので、屋外での使用は
できません。また、他の用途でもご使用にならないでく
ださい。

● 本製品は石膏ボード壁専用です。他の材質の壁には取
付けができません。画鋲を刺してみても、抜いた針に白い
粉がついたら石膏ボード壁です。
石膏ボード壁以外では十分な強度が保てず、
落下する恐れがあります。

● 定期的に壁への固定状態を点検してください。
ゆるんでいる場合は、場所を変えて付け直してください。
決して同じ穴に固定ピンを刺し込まないでください。
強度が不足し落下する危険があります。

● 竿やフックにぶらさがったり、いたずら操作をしないで
ください。
落下によるケガや故障の原因となります。

● 使用しないときは必ず竿を収納してください。
ぶつかってケガをする恐れがあります。

● フックを水平方向に引っ張らない
でください。
固定ピンが抜けて、落下する恐れが
あります。

各部名称

部品明細

※下図に描かれた部品が揃っているか、ご確認ください。

① フック・・・3 個

フックカバー

フックベース

② 竿・・・1 本

太竿

細竿

※細竿と太竿の分解はしないでください。

③ 固定ピン・・・1 5 本
(予備が数本入っています。)

④ 紙テープ・・・1 本

⑤ 注意ラベル・・・1 枚

収納パターンの選択 家具の設置状況などに合わせ次の2通りから竿の収納パターンをお選びください。

【縦収納】フックを2個使用します。

使用時

収納時

【横収納】フックを3個使用します。

使用時

収納時

取付手順 用意するもの・・・メジャー、マスキングテープ、ハンマー

1

次の取付け条件をもとに取り付ける場所を決めます(条件を満たせば取付け場所は自由です)。

取り付ける壁間の距離

【コーナー取付けの場合】

【対面取付けの場合】

※上から見た図

【対面斜め取付けの場合】

※上から見た図

フックの取付け高さ(縦収納の場合)

※フックの取付けが
低すぎると収納の際、
竿が床や巾木にあたり、
破損やキズの原因と
なります。

※横から見た図

フックの取付け幅(横収納の場合)

※使いやすい高さに取り付けてください。

※正面から見た図

2

1で決めた取付け位置にマスキング
テープを貼ります(片側のみ)。

フック取付け位置

壁

マスキングテープ

3

使用するフックのフックカバーを
すべて外します。

フックベース

フックカバー

4

マスキングテープにフックベースの
下面をあわせ、上側中央の穴に
固定ピンを刺し、ハンマーで打ち込み
ます。

固定ピン

マスキングテープ

※固定ピンが下地などに
あたり刺さらない場合は、
無理に打ち込まず、
取付け場所を変えて
ください。

5

マスキングテープをはがし、
フックベースが水平になるように
調整します。

良い例

悪い例

水平

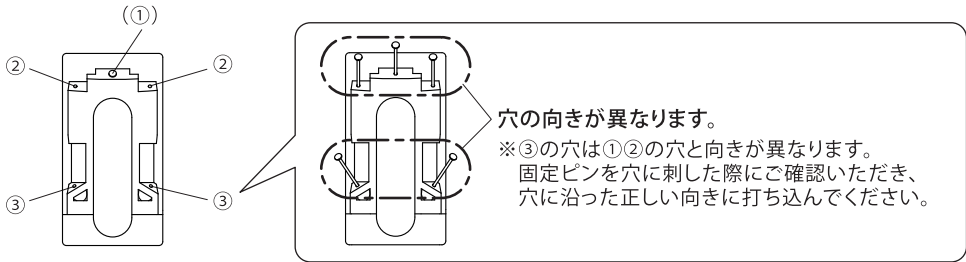
※マスキングテープを
はがしてから調整して
ください。

裏面へ

表面から

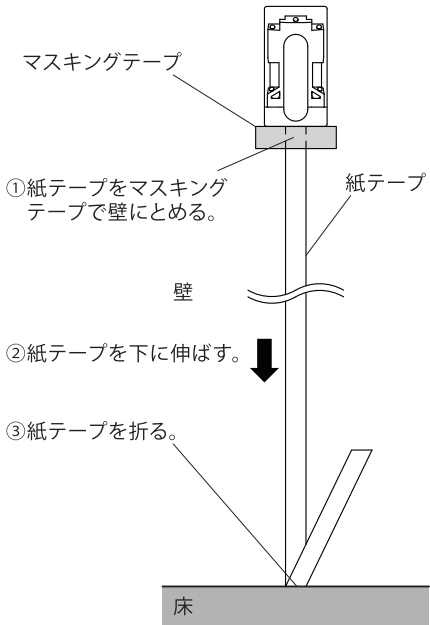
6

残り4本の固定ピンを打ち込みます。
図の②③の順に打ち込んでください。
※フックベースが傾かないように
しっかり押さえて固定ピンを
打ち込んでください。



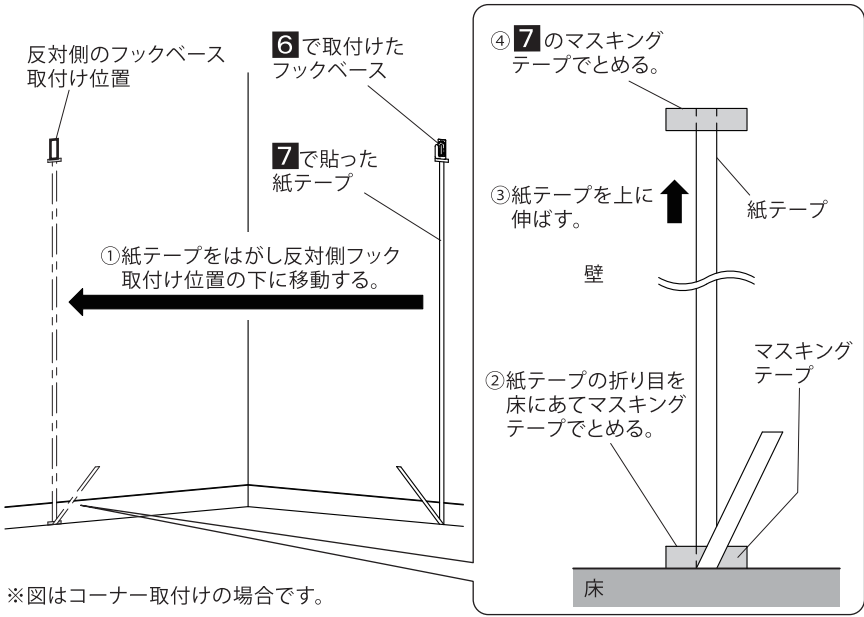
7

取り付けたフックベースの床からの高さを測ります。
フックベースの下面に紙テープの端をあわせ、マスキング
テープで壁にとめます。その後紙テープをまっすぐピンと
張った状態で下に伸ばし、床に触れたところで折り返して
ください。



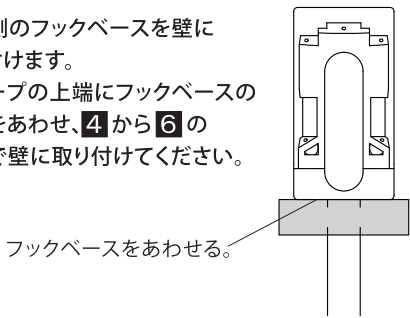
8

反対側のフックベースの取付け位置を決めます。
まず 7 で貼った紙テープをマスキングテープと一緒にはがします。紙テープの折り目を
反対側のフック取付け位置真下の床にあて、壁にマスキングテープでとめます。
紙テープをまっすぐピンと張った状態で上に伸ばし、上端を 7 のマスキングテープで
とめます。



9

反対側のフックベースを壁に
取り付けます。
紙テープの上端にフックベースの
下面をあわせ、4 から 6 の
手順で壁に取り付けてください。

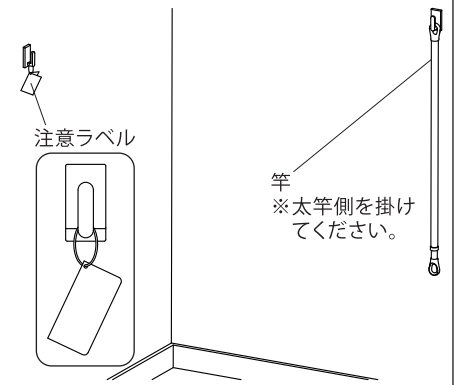


※フックベースの高さが大きく異なると洗濯物がずれることがありますので、付け直してください。

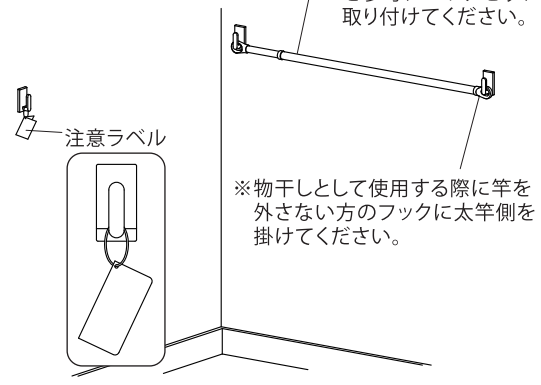
11

竿を収納する側のフックに竿を、反対側のフックに注意ラベルを掛けます。

【縦収納】

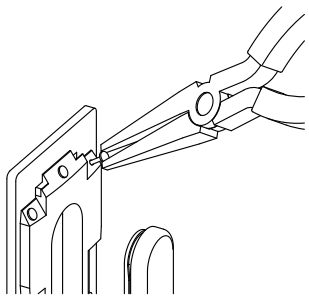


【横収納】



取外し方

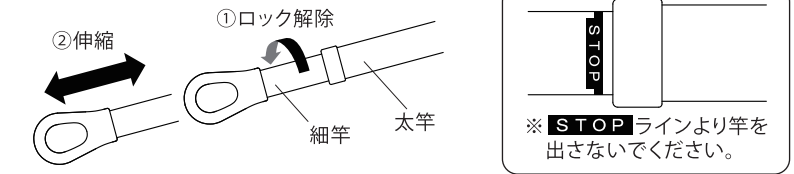
フックカバーを外し、ラジオベンチなどで
固定ピンをまっすぐ引き抜いてください。



使用方法

竿の伸縮方法

細竿を回しロックを解除した後、竿を伸縮します。

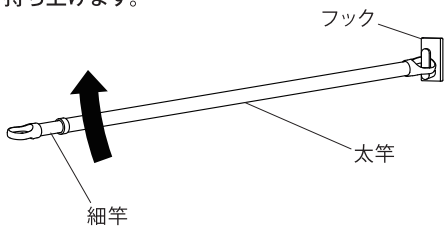


※竿は細竿を「しめる」方向に軽く抵抗があるまで回すことで
ロックできます。
※竿のロックは縦収納するときのみ使用します。
竿を物干しとして使用する、横収納するなど細竿をフックに
掛ける際は竿をロックしないてください。

【縦収納から竿を設置する場合】

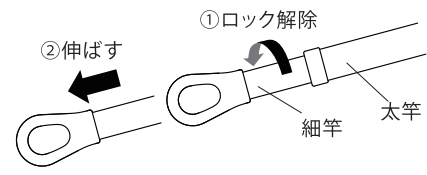
1

太竿をフックに掛けたまま細竿を
持ち上げます。



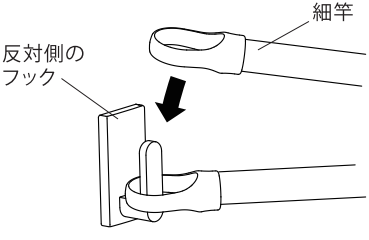
2

ロックを解除した後、細竿を伸ばします。



3

竿をロックせずに反対側のフックに掛けます。

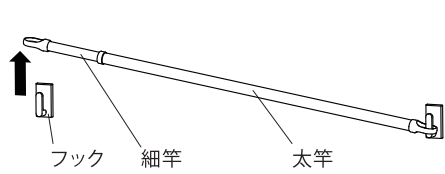


※竿の収納は逆の手順で縮めて行ってください。

【横収納から竿を設置する場合】

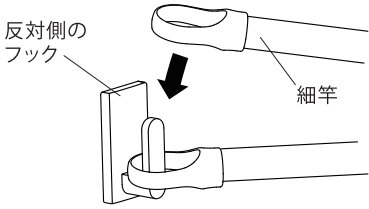
1

細竿をフックから外します。



2

細竿を伸ばしロックせずに反対側のフックに
掛けます。



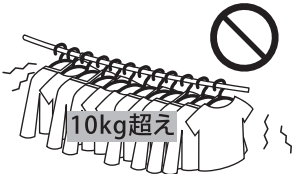
※竿が自然にロックされていることがあります。
伸縮する前にご確認ください、 ロックされていた
場合は解除してください。

※竿の収納は逆の手順で縮めて行ってください。
その際竿はロックしないてください。



取扱い上の注意

- 洗濯物は10kgを超えて干さないでください。故障の原因となります。
- 洗濯物はよく脱水して竿に干してください。
- 竿に強い振動を加えないでください。故障の原因となります。
- 竿に均等に干してください。故障の原因となります。
- 竿の出し入れはゆっくり行ってください。ぶつかってケガをしたり、壁などを破損する恐れがあります。
- 横収納時壁面ハンガーとして使用する場合も10kgを超えて掛けないでください。故障の原因となります。



お手入れ方法

- 柔らかい布に薄めた中性洗剤をつけて固く絞り、汚れを拭き取ります。そのあとに乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
ベンジン・シンナー・酸性洗剤などは変色・変形・亀裂の原因となりますので使用しないでください。

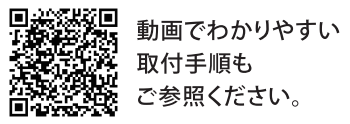
品質表示

外形寸法：竿/(Sサイズ)約全長1260～1800mm(太竿直径29.4mm・細竿直径25.4mm)
(Lサイズ)約全長1738～2650mm(太竿直径29.4mm・細竿直径25.4mm)
フック/約幅47×奥行38×高さ90mm

使用材料：竿/ポリプロピレン被膜鋼管・ポリアセタール・ABS樹脂
フック/ABS樹脂
固定ピン/ステンレス鋼(クロム18%、ニッケル8%)

最大積載重量：10kg
取付可能な壁間距離：(Sサイズ)1320～1800mm
(Lサイズ)1801～2650mm

オークス株式会社
〒955-0842 新潟県三条市島田2丁目8番3号



お問い合わせ

フリーダイヤル
0120-35-1217
受付時間/平日9:00～17:00
(土、日、祝日を除く)
www.aux-ltd.co.jp